

Dentalstaff Mirai Project News

vol.16

デンタルスタッフ☆ミライ☆プロジェクトニュース



DH Pro. セミナー第1期生による 症例発表会+山崎瑞穂先生講演会

12/4
Sun



山崎瑞穂 DHのHP
公開中です



DH Pro. セミナー第1期生は11月13日に修了し12月4日に多くの歯科界の方々の前で、堂々と8名はセミナー & 患者さんから学び成長したことを発表し幕を閉じました。とても感動しました！私たち講師陣にサプライズの寄せ書き(涙)本当にありがとう！素晴らしい出会いを与えて下さった院長先生はじめスタッフの皆様、症例作成をバックアップし応援してくださった方々、当日会場まで足を運んで下さった皆様にご心より深く御礼を申し上げます。

講師 山崎瑞穂

本物の歯科衛生士を目指して

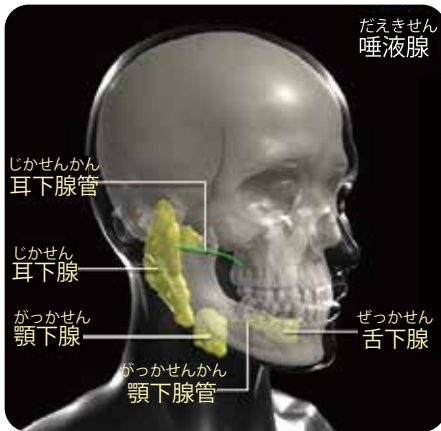
検索



山崎先生によるコラムのコーナー

サリバテスト(だ液検査)で自分のむし歯リスク・原因を調べてみよう

患者さんに提案した唾液腺マッサージの方法



1. 耳下腺(じかせん) マッサージ	2. 顎下腺(がつかせん) マッサージ	3. 舌下腺(ぜっかせん) マッサージ
耳下腺を意識しながら親指以外の4指を頬にあて、上の奥歯あたりを後ろから前へ向かって、5~10回ゆっくりと回す。	顎下腺を意識しながら親指を顎下の骨の内側の柔らかい部分にあて、耳の下から顎の下まで5か所ほどを、1か所につき3~5回ずつ押す。	舌下腺を意識しながら両手の親指を揃え、顎の真下から舌を押し上げるようにグーッと10回押す。さあ、だ液が出てくるのを実感できましたか？

患者情報

62歳 女性 専業主婦
主訴 前歯が抜けた
歯科が苦手で20年放置していた

何故このような状態になったのか？
サリバテストを行ってみよう。

サリバテスト

検査結果	5分間のだ液の分泌量	1.5 ml	だ液の緩衝能	低い(黄色)
	フッ素の使用状況	ホームのみ	プラーク量	class 3
	ミュータンス菌量	class 3	食事頻度	class 1
	ラクトバチラス菌量	class 2	DMFT	class 3

サリバテストの検査の結果を上手に利用してセルフケアにつなげていこう

咬合崩壊のために咀嚼困難で唾液量の低下が認められ、崩壊を再建することによって唾液量が回復することが予想されます。そこで、さらに具体的な今後の治療やセルフケア提案ができるようにサリバテストを行いました。

またサリバテストは、ただ単にブラッシングのモチベーションを高めるためだけでなく、唾液の分泌量が少なく緩衝能が低ければ、食生活(内容、回数、間食を減らす)を見つめ直し、改善するようにして唾液の分泌量と緩衝能が低い状態を補うようにします。唾液の量が増えるように、水やお茶などの水分補給をすることと唾液腺マッサージの方法(上記参照)を提案します。さらに、家でのフッ素使用と歯科医院での定期的なフッ素塗布が大切であることをお伝えします。